



平成 28 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 東洋製罐グループホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 中井 隆夫
(コード番号 5901 東証第一部)
問 合 せ 先 総 務 部 長 小笠原 宏喜
(TEL 03-4514-2001)

**当社連結子会社（株式会社富士テクニカ宮津）における特別損失の計上
および繰延税金資産の取崩しならびに業績予想の修正に関するお知らせ**

当社の連結子会社である株式会社富士テクニカ宮津が、別紙のとおり「特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しならびに業績予想の修正に関するお知らせ」を本日公表いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当社の連結業績に与える影響につきましては現在精査中であり、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

(別紙) 株式会社富士テクニカ宮津の開示資料

以 上

(別紙)



各位

平成28年4月27日

上場会社名 株式会社富士テクニカ宮津
代表者 代表取締役社長 和久田 俊一
(コード番号 6476)
問合せ先 企画部長 高橋 一重
(TEL 055-977-0401)

特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しならびに業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月12日に公表いたしました平成28年3月期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の業績予想を修正するとともに、平成28年3月期決算において計上が見込まれる特別損失および繰延税金資産の取崩しについて併せてお知らせいたします。

なお、期末配当金につきましては、従来予想どおり1株につき10円を予定しております。

記

1. 特別損失の計上について

マレーシアの自動車メーカーであるプロトン社の持株会社との合併であり当社が34%を出資する宮津マレーシア社におきまして、平成28年3月期決算見込みが2期連続で当期純損失を計上する見込みとなったこと、また、平成28年3月末において債務超過となる見込みとなったことから、今後の業績を慎重に検討した結果、投資額186百万円の全額について関係会社株式評価損を計上する見込みとなりました。

なお、同社は、プロトン社が生産する自動車の一部の車体用プレス金型と量産部品を供給しており、プロトン社の工機部門としての役割を担っていることから、現時点で同社の事業継続についての懸念はないものと判断しております。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、平成29年3月期の課税所得の減少が見込まれることなどから、合計で508百万円の繰延税金資産の取崩しを行い、これに伴い同額の法人税等調整額を計上する見込みとなりました。

3. 平成28年3月期通期業績予想の修正について

平成28年3月期通期業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,000	1,800	1,900	1,900	138.55
今回修正予想(B)	18,020	1,340	1,390	490	35.73
増減額(B-A)	1,020	△460	△510	△1,410	
増減率(%)	6.0	△25.6	△26.8	△74.2	
(ご参考)前期実績値 (平成27年3月期)	12,605	984	1,201	1,934	141.06

修正の理由

(1) 売上高について

海外案件の出荷増加などにより、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

(2) 営業利益および経常利益について

製品出荷時期の集中に対応するため、外注費および海外顧客製品に係る現地調整費用が増加したことなどにより売上原価が442百万円増加すると見込まれること、および、東洋鋼板株式会社による公開買付け対応費用など、前回発表予想時に見込んでいなかった経費が発生したことなどにより、販売費及び一般管理費が60百万円増加すると見込まれることから、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

(3) 当期純利益について

上記(2)のとおり経常利益の減少が見込まれることに加え、上記「1. 特別損失の計上について」により186百万円の関係会社株式評価損を計上する見込みとなったこと、および、上記「2. 繰延税金資産の取崩しについて」により508百万円の法人税等調整額を計上する見込みとなったことなどにより、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

以上